

第1問 【解答例】

問一 A…(4) B…(5) C…(1) D…(3) E…(6) F…(2)

問二 能力が秀でていたり親に恵まれていたりする限られた人以外、現実では努力しても報われないと思う人々が増え、格差が努力で乗り越えられるという物語が、令和の時代には現実味を失って聞こえてしまうから。

問三 自分が身近な世界でもリアルに成功しそうもないことはわかっているから。

問四 ウ
問五 不満は比較から生まれるが、生活水準の低下が目に見えない形で進み、周囲と同じような生活を送る限り自分だけ損をしな
いから。

問六 ①就 ②原理主義 ③たく ④じよじよ ⑤破綻 ⑥時折 ⑦保証 ⑧かいまみ ⑨そそ ⑩さび

第2問 【解答例】

問一 A…(3) B…(1) C…(4) D…(5) E…(2)

問二 長手数の詰みの可能性を直感的に感じとり、そこを掘り下げて読む能力

問三 かつて矢倉囲いは将棋の王道だったが、A Iの登場により囲いが完成する前に駒がぶつかり合うこと増え、あまり見られなくなった。現在は、囲いの完成よりもバランスを重視し、相手の出方を見ながら相手に合わせて対応する戦い方が増えている。(112文字)。

問四 X 評価値 Y 陣形

問五 (1)○ (2)× (3)× (4)× (5)○ (6)×

問六 ①きし ②あくしゆ ③概念 ④から ⑤究極 ⑥たんさく ⑦搭載 ⑧頻出 ⑨すき ⑩攻撃